

私にとっての転機と挑戦

—挑戦×経験×世代—

クロサカタツヤ（株式会社 企）

2025年11月27日

自己紹介：クロサカタツヤ

株式会社 企（くわだて） 代表取締役

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授／X-Dignityセンター 副代表
ジョージタウン大学 客員研究員



【略歴】

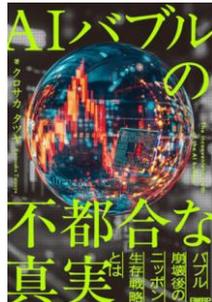
1999年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。三菱総合研究所を経て、2008年に株式会社 企（くわだて）を設立。通信・放送セクターの経営戦略や事業開発などのコンサルティングを行うほか、総務省、経済産業省、OECD（経済協力開発機構）等の政府委員を務め、政策立案を支援。2016年からは慶應義塾大学大学院特任准教授、2024年からジョージタウン大学客員研究員を兼務。著書『5Gでビジネスはどう変わるのか』（日経BP社、単著）、『生成AI時代の教養 技術と未来への21の問い』（風涛社、共著）。

【主な役職等】

- 総務省 情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波有効利用委員会 専門委員（2025年～）
- 経済協力開発機構(OECD) DFFT専門委員会 委員（2024年～）
- **一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）理事（2024年～）**
- オリジネーター・プロファイル技術研究組合 事務局長（2022年～）
- 公正取引委員会 デジタルスペシャルアドバイザー（2021年～）
- 総務省 デジタル空間における情報流通の諸課題への対処に関する検討会 デジタル広告ワーキンググループ 構成員（2024年～）
- 総務省 情報通信審議会 情報通信技術分科会 IPネットワーク設備委員会 非常時における事業者間ローミング等に関する検討作業班 構成員（2024年～）
- 経済産業省 令和5年度 Web3.0・ブロックチェーンを活用したデジタル公共財等構築実証事業 有識者委員会（アドバイザーボード）座長（2024年～）
- 総務省 電気通信事故検証会議 構成員（2022年～）
- 総務省 消費者保護ルールの在り方に関する検討会 構成員（2021年～）
- 総務省 ICTサービス安心・安全研究会 消費者保護ルール実施状況のモニタリング定期会合 委員（2016年～）、他

「5Gでビジネスは
どう変わるのか」
(2019/11/14)

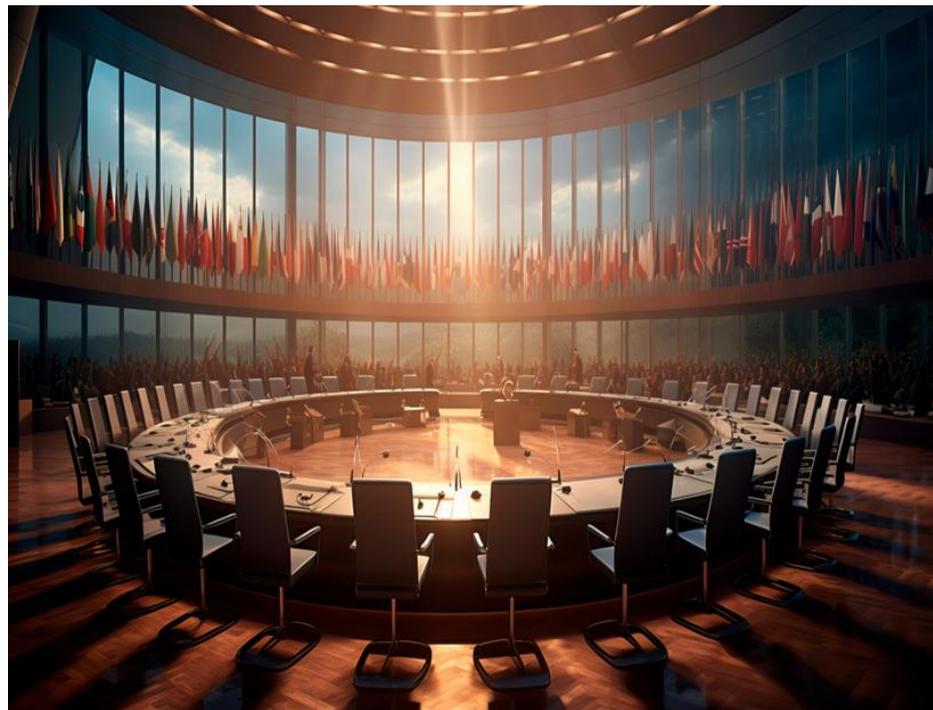
「AIバブルの不都合な
真実」(2025/9/28)



私の転機（20代＝1995-2004）

- 「明日はクロサカが司会やってね」
 - 村井さんに北京で深夜に飲みながら翌日の国際会議の会議回しを無茶振り指名される

- 「ネットワークを自由にしたいね」
 - IPv6サミットでマドリッドを訪れた際、空港からのバスで偶然同席したJawad Khakiに（勇気を出して）話しかけたら、到着するまでずっと話してくれる



私の転機（30代＝2005-2014）

- ブログを始めた
 - 穴がなかったら掘って入りたいレベルの品質だったものの「物珍しさ」から読んでいただけたらしい
- 自分の会社を作った
 - コンサルティングは重要な営みだが、それだけではプロダクトやサービスを作る支援が足りないことに気づいた
- 東日本大震災
 - ミッションの自覚
 - 仕事を広げる挑戦
 - 人を雇う覚悟



私の転機（40代＝2015-2024）

- 慶應の研究者になった
 - 実は個人的には大きな超克
 - 個人と社会がつながった瞬間でもある
- コロナウィルスと仕事の爆発
 - 社会がデジタルを求める瞬間に立ち会う
 - いろんなことが全然できていなかった
- アメリカで生活を始めた
 - 実は社会の中でエアポケットだった
 - 自分の中の「未解決問題」に気づいた



転機を受け止めた支え

- 支えになったもの
 - 健康（心、身体、身の回りの環境）
 - 頼れる人（私の場合は家族、特に妻）
 - コミュニティ（地域、職域）
- 支えを必要とする理由
 - 武器と経験がないので無力である
 - 大抵の転機は経験と機会が一致しない
- 転機はなぜ必要か
 - 挑戦するため＝失敗するため
 - "if you are not taking a mistake, it's a mistake."



